大阪高体連サッカー部
公 式 記 録

会場責任者	主審サイン
三宅　愛	曽我　忍

大会名	令和２年度 大阪高校総合体育大会〈女子の部〉	決勝リーグ	第2節 第2試合	令和2年9月26日　(日) ＃ 時 10 分 キックオフ	競技時間	８０分	記録者　伊勢　あやめ
会場	J-GREEN堺 S11	天候　晴　曇　雨	風　強　弱　無	人工芝　状態　良好　不良　泥沼	審判	主審　曽我　忍　氏	副審　A1　尾上　顕大　氏 A2　京名　遙仁　氏	第4の審判員　鍋谷　誠　氏

【チーム名】	kick off			【チーム名】	kick off
大　商　学　園　高等学校	4	前半	0	追　手　門　学　院　高等学校	1
先		後半	1	先	
背番号				背番号	
○ ×		PK戦		○ ×	

	シュート（得点者は＊印）				学年	選手名	背番号	位置		背番号	選手名	学年	シュート（得点者は＊印）				
交代時間	延長後半	延長前半	後半	前半									前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間
分					3	竹下　奏彩	1	GK	GK	1	齋藤　美祐季	3					分
71 分				1	2	濱岸　可那子	3	DF	DF	2	島野　杏梨	2					分
分				1	3	伊東　珠梨	4	DF	DF	3	徳弘　海羽	2					分
分					3	中津留　彩奈	5	DF	DF	4	小堀　奈緒	2					分
分				1	3	稲垣　真衣	6	MF	DF	5	森　早苗	1					分
51 分					2	佐伯　綾	15	MF	MF	7	石川　真愛永	3					分
分				1	2	北岡　梨愛里	8	MF	MF	8	堤　楓花	2	1				54 分
65 分					3	河原林　紬	9	MF	FW	9	三浦　めぐ	3		1			分
分					3	大住　六花	7	FW	MF	15	山下　妃華	2		＊ 2			分
57 分				*** 3	3	宮本　妃菜里	11	FW	FW	6	草水　胡桃	1					65 分
交代選手 65 分				1	2	高木　琳	16	FW	MF	11	太田　凪砂	2					分　交代選手
交代要員																	
番 分					2	力丸　里保	12	GK	GK	12	西尾　今日子	2					分　番
番 分					2	藤居　由衣	26	DF	DF	10	大内　理桜菜	3					分　番
番 分					2	高橋　雅	18	DF	DF	13	吉川　渚	3					分　番
番 分					2	徳本　華暖	28	MF	DF	19	竹内　しずく	3					分　番
9 番 分					1	上原　すずか	19	MF	MF	16	梶　遙夏	3					分　番
11 番 分					3	高瀬　千晶	17	MF	MF	17	冨江　満帆	2					分　番
16 番 分					3	中川　ひなの	22	FW	MF	20	中内　花咲	2		1			分　8 番
15 番 分					1	亀井　七奈	14	FW	FW	14	余根田　彩香	3					分　番
3 番 分			1		1	鬼頭　こはな	25	FW	FW	18	黒松　りぼん	3					分　6 番
			4	5	小計	9	合計	シュート数		合計	5	小計	1	4			

警・退	時間	番	氏　名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏　名	事由
	分				4			3	1	G K	3	2			5		分			
	分				4			2	2	C K	0	0			0		分			
	分				2			2	0	直接 FK	1	4			5		分			
	分				0			0	0	間接 FK	1	0			1		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点

時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト
8 分	大商学園	宮本　妃菜里		分				分			
14 分	大商学園	宮本　妃菜里	伊東　珠梨	分				分			
35 分	大商学園	宮本　妃菜里	高木　琳	分				分			
40 分	大商学園	伊東　珠梨	北岡　梨愛里	分				分			
44 分	追手門学院	山下　妃華	太田　凪砂	分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			

戦評者氏名（　桂　田　光　）　勤務先又は所属（大阪府立門真なみはや高等学校）

双方1-4-4-2のシステムで試合が始まる。追手門学院はファーストプレスのラインをハーフウェイラインに設定しカウンターを狙う。対する大商学園はFW⑯高木をターゲットにロングボールで押し込むプレーや、両SHがハーフスペースに入りSBが高い位置をとる流動的なポジションチェンジで相手ブロックの突破口を探る。また失ったあとのプレスもはやく追手門学院に反撃の隙を作らせない展開が続く中、前半８分、大商学園FW⑪宮本の相手２人を鮮やかに抜いたシュートが決まる。その後も、サイドから人数をかけて再三ゴールに迫った大商学園は前半のうちに４点を奪った。後半に入ると、追手門学院はファーストプレスのラインを１０m上げ、１点を返しに積極果敢にボールを奪いにいく。前半よりも高い位置でボールを奪い、FW⑪太田を起点としたミドルカウンターでシュートまでいく場面が増えてきた中で、クロスをMF⑮山下が見事に合わせ１点を奪うことに成功する。そこから追手門学院の流れかと思われたが、大商学園はサイドの２枚の配置を変えたり、交代選手を積極的に投入することで攻撃の手を緩めることなく自分たちのリズムを相手に渡さなかった。後半失点を許したものの、巧みなゲームコントロールで終始ボールを支配した大商学園のプレーは素晴らしく、その相手に対して後半ライン設定を変え、何とか１点をもぎ取った追手門学院の気迫は今後に繋がると感じた。